



平成20年 9月12日 発行

第5号

村松ステーション一般公開が行われました

8月10日(日)(10:00~14:00)、村松ステーションにおいて、「農場一般公開」が行われました。毎年地域の皆様に、大変ご好評頂いているこの行事ですが、今年度はJSTに採択された「いのちを感じる体験型プログラム」も併催し、トラクターツアーや仔牛の哺乳体験、羊毛を使った羊のマスコット作りなどを行いました。(詳細は2ページ目)

農産物も大人気で毎年整理券必須のスイカをはじめ、じゃがいも、なす、ゴーヤ、かぼちゃ、たまねぎ、トマトなどが販売されました。また、地域の農家の女性たちが参加している「さくらドリーム」の生産加工品の販売も行われ、早々に完売してしまったようです。

来場された方から、「美味しいから今年も(農産物を)買いにきた」とのお声を掛けていただくこともありました。



開店1時間前から並ぶお客様たち



毎年恒例、かき氷娘☆



スイカ販売の様子



お買い上げありがとうございました♪



賑わう場内

高橋先生の笑顔 😊



最後は流しソーメンで打ち上げ！
みなさん、暑い中お疲れ様でした。

JST採択「いのちを感じる 体験型プログラム」第1回目開催

村松ステーションでは、一般市民の方に、実際に牛やヤギに触れ、農作業を体験しながら生き物の大切さや、農業についての認識を持ってもらえるよう活動を続けております。

この度、そのような体験プログラムが、独立行政法人科学技術振興機構(JST)の地域科学技術理解増進活動推進事業 地域活動支援に採択されました。

第1回目のプログラムは、農場開放の日(8月10日)とあわせて行いました。

トラクターツアーでは、トラクターに乗ってステーション内を周回しながら農業に関するクイズを出し、クイズを通して農業についての知識を深めてもらいました。どの便も満席で好評だったようです。また、羊毛を使った羊のマスコット作り教室も開き、皆さんカワイイ羊さんを作っていました。



センターからのお知らせ

新潟大学から生まれたお酒「新雪物語」の原料米「五百万石」の刈り取りが始まります。今年は更に大吟醸用「越淡麗」も栽培しています。ご期待下さい!

